令和４年４月

農業委員会議議事録

開 催 日：令和４年４月２５日（月）

場　　所：越谷市農業技術センター２階
　　研修室

開会時刻：午前　９時５４分

越 谷 市 農 業 委 員 会

１．開催年月日　　令和　４年　４月２５日（ 月 ）

２．開催場所　　越谷市農業技術センター　２階研修室

３．農業委員出欠状況

議席	氏　　名	出欠	議席	氏　　名	出欠
1	瀬　尾　　守	出	8	宇田川　道　代	出
2	藤　井　光　昭	出	9	吉　田　佳　子	出
3	坂　巻　秀　雄	出	10	田　口　　勲	出
4	山　﨑　保　夫	出	11	荻　島　元　治	出
5	渋　谷　喜代治	出	12	金　子　繁　雄	出
6	小　沼　真由美	出	13	小　林　　博	出
7	大　熊　敏　夫	出	14	三ツ木　宗　一	出

４．農地利用最適化推進委員出欠状況

議席	氏　　名	出欠	議席	氏　　名	出欠
1	小早川　久　夫	出	8	飯　髙　　進	出
2	神　田　東　一	出	9	齋　藤　晃　一	出
3	今　井　富士雄	出	10	鈴　木　喜　雄	出
4	林　　信　雄	出	11	豊　田　佳　樹	出
5	岡　安　昇　治	出	12	松　沢　浩　之	出
6	関　根　　栄	出	13	原　田　源　一	出
7	高　島　　豊	出			

５．出席者　　事務局長　　関　根　正　和
　　統括主幹　　齋　藤　利　明
　　主　　幹　　高　橋　英　行
　　主　　幹　　上　原　　誠
（説明員）　開発指導課長　　田　中　克　尚

６．議　事

① 議事録署名人の指名

② 議　案

第１号議案　農地法第３条第１項の規定による許可について

第２号議案　農地法第４条第１項の規定による許可申請の意見決定について

第３号議案　農地法第５条第１項の規定による許可申請の意見決定について

第４号議案　農用地利用集積計画（案）の決定について

第５号議案　引き続き農業経営を行っている旨の証明書の発行について

第６号議案　農地の競公買適格証明書の発行について

第７号議案　農地法第３条第２項第５号における別段の面積について

第８号議案　農業委員会等に関する法律第２６条第３項の規定による職員の任免について

③ 報　告

第１号報告　農地法第３条の３第１項の規定による届出の受理について

第２号報告　農地法第４条第１項第８号の規定による届出の受理について

第３号報告　農地法第５条第１項第７号の規定による届出の受理について

第４号報告　農地の改良に係る届出について

７．議　長　　越谷市農業委員会会長　　金　子　　繁　雄

８．閉会時刻　　午前１０時３７分

９．会議の内容

局　　長	皆様、おはようございます。本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 開会に先立ちまして、事務局職員の変更について報告いたします。４月１日付の人事異動に伴い、事務局長に着任いたしました関根と申します。よろしくお願いいたします。 同じく、事務局職員として着任いたしました上原主幹です。
主　　幹	上原でございます。よろしくお願いいたします。
局　　長	それでは、これより越谷市農業委員会会議を開会いたします。 開会に当たりまして、金子会長からご挨拶をお願いいたします。
会　　長	改めまして、おはようございます。今日は夏日になるとの予報ですが、これから田植えの時期に入りますが、天候が不安定で、通常であれば圃場が乾いている状況ですが、雨も多いことから作業が遅れてしまうようです。これから作業も忙しくなりますが、体調管理には十分注意をいただき、農作業頑張っていただきたいと思います。 言葉整いませんが、冒頭の挨拶といたします。慎重審議よろしくお願いします。
局　　長	ありがとうございました。 出席委員は14名中14名で、定足数に達しておりますので、総会は成立しております。 それでは、越谷市農業委員会総会会議規則の規定により、金子会長に議事の進行をお願いいたします。
議　　長	ただいまより開催いたします。 まずは、本日の議事録署名委員ですが、総会運営申合せ事項により、私から、13番の小林委員、14番の三ツ木委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。 第１号議案　農地法第３条第１項の規定による許可について、事務局より説明願います。
統括主幹	議案書の１ページを御覧ください。

第１号議案　農地法第３条第１項の規定による許可について説明します。

番号、譲渡人氏名、譲受人氏名の順に読み上げます。

それでは、１番の内容ですが、申請理由は営農拡張です。経営面積は7,578平方メートルです。通作距離は徒歩５分、農機具は完備しております。農業従事者は譲受人含め２名です。

続きまして、２番の内容ですが、申請理由は営農拡張です。経営面積は１万5,286平方メートルです。通作距離は２キロメートル、農機具は完備しております。農業従事者は譲受人含め４名です。

続きまして、３番の内容ですが、申請理由は営農拡張です。経営面積は7,947平方メートルです。通作距離は1.5キロメートル、農機具は完備しております。農業従事者は譲受人含め２名です。

続きまして、４番の内容ですが、申請理由は世帯内贈与です。経営面積は5,154平方メートルです。通作距離は徒歩１分、農機具は完備しております。農業従事者は譲受人含め３名です。

続きまして、５番の内容ですが、申請理由は世帯内贈与です。経営面積は5,154平方メートルです。通作距離は徒歩１分、農機具は完備しております。農業従事者は譲受人含め３名です。

以上５件は、農地法第３条第２項の各号に該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えられます。

事務局からは以上です。

議　　長　ただいまの説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明を、１番について推進委員２番の神田委員、２番から５番について推進委員11番の豊田委員よりお願いいたします。

それでは、１番について、神田委員よりお願いします。

２番推進委員（神田委員）　１番の件について補足説明します。

４月21日に現地を確認しております。申請地の１筆については、適正に管理、耕作されておりました。許可申請の目的は営農拡張であり、事務局説明のとおり農業経営の状況、通作距離、農業従事者、所有する農機具等についても問題はないと判断します。

以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議　　長　ありがとうございました。

２番から５番について、豊田委員よりお願いいたします。

１１番推進委員（豊田委員）　２番の件について補足説明します。

４月21日に現地を確認しております。申請地の１筆については、適正に管理、耕作されておりました。許可申請の目的は営農拡張であり、事務局説明のとおり農業経営の状況、通作距離、農業従事者、所有する農機具等についても問題はないと判断します。

以上、報告いたします。

次に、３番の件について補足説明します。

４月21日に現地を確認しております。申請地の１筆については、適正に管理、耕作されておりました。許可申請の目的は営農拡張であり、事務局説明のとおり農業経営の状況、通作距離、農業従事者、所有する農機具等についても問題はないと判断します。

以上、報告いたします。

次に、４番の件について補足説明します。

４月21日に現地を確認しております。申請地の１筆については、適正に管理、耕作されておりました。許可申請の目的は世帯内贈与であり、事務局説明のとおり農業経営の状況、通作距離、農業従事者、所有する農機具等についても問題はないと判断します。

以上、報告いたします。

次に、５番の件について補足説明します。

４月21日に現地を確認しております。申請地の３筆については、適正に管理、耕作されておりました。許可申請の目的は世帯内贈与であり、事務局説明のとおり農業経営の状況、通作距離、農業従事者、所有する農機具等についても問題はないと判断します。

以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議　　長　ありがとうございました

ただいまの説明について質疑はございませんか。

全　　員　なし。

議　　長	質疑はないということでございますので、以上で質疑を終結いたします。 続いて、採決を行います。 原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いいたします。 〔挙手全員〕
議　　長	挙手は全員でございますので、原案のとおり許可と決定いたします。 続きまして、第２号議案　農地法第４条第１項の規定による許可申請の意見決定について、事務局から説明願います。
統括主幹	議案書の２ページを御覧ください。 第２号議案　農地法第４条第１項の規定による許可申請の意見決定について説明します。 番号、申請人氏名の順に読み上げます。 それでは、１番の概要ですが、転用目的は住宅です。転用理由といたしまして、申請人は諸事情により現在居住している土地及び建物を売却し、現住所に賃貸にて生活しておりますが、賃貸住宅での生活はなじめず、このたび自己用住宅の建築を計画し、申請地は、現在の住まいに隣接し、生まれてから今日まで長年住み慣れたところで引き続き親族やご近所との付き合いもできることから申請に及んだものです。 本件の農地区分は第１種農地ですが、農地法施行令第11条第１項第２号イの不許可の例外に当たり、農地法施行規則第33条第４号の住宅に該当するものと考えます。また、資力や信用性などの立地条件以外の基準につきましては、添付書類等により適当であると考えます。 続きまして、２番の概要ですが、転用目的は店舗（書道塾）です。転用理由といたしまして、申請人は定年が間近となり退職後の生活を考える中、子供の頃からの特技である書道の腕前を生かし書道塾を開設することを考え、申請地付近は住宅があることや小学校があることなどから、入塾する生徒が見込めることから申請に及んだものです。 なお、令和４年２月15日付で店舗として農用地区域から除かれてい

	ます。 本件の農地区分につきましては、申請地の周辺は集落介在が進んだ一団、10ヘクタール未満の第２種農地と判断され、それぞれ代替性が認められませんので、立地条件に適合していると考えます。また、資力や信用性などの立地条件以外の基準につきましては、添付書類等により適当であると考えます。 事務局からは以上です。
議　　長	ただいまの説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明を、１番について三ツ木委員、２番について大熊委員よりお願いいたします。 それでは、１番の件について、三ツ木委員よりお願いします。
１４番委員 （三ツ木委員）	１番の件について説明いたします。 ４月13日に現地を確認しております。申請地の現況は畑で、転用の目的は住宅です。北側の出入口を除き、周囲をコンクリートブロックを設置することから、周囲へ被害を及ぼすおそれはないと判断します。 以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。
議　　長	ありがとうございました。 ２番について、大熊委員よりお願いいたします。
７番委員 （大熊委員）	２番の件について説明いたします。 ４月21日に現地を確認しております。申請地の現況は畑で、転用の目的は書道塾です。東側の出入口を除き、周囲をコンクリートブロックを設置することから、周囲へ被害を及ぼすおそれはないと判断します。 以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。
議　　長	ありがとうございました。 ただいまの説明について質疑はございませんか。
全　　員	なし。
議　　長	質疑はないということでございますので、以上で質疑を終結いたします。 続いて、採決を行います。 原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いいたしま

す。

〔挙手全員〕

議　　長　　挙手は全員でございますので、原案のとおり許可相当と意見決定いたします。

続きまして、第３号議案　農地法第５条第１項の規定による許可申請の意見決定についての１番から６番について、事務局から説明願います。

統　括　主　幹　　議案書の３ページ及び４ページを御覧ください。

第３号議案　農地法第５条第１項の規定による許可申請の意見決定についての１番から６番について説明します。

番号、譲渡人氏名、譲受人氏名の順に読み上げます。

それでは、１番の概要ですが、目的は資材置場です。転用理由といたしまして、譲受人は平成14年に市内に本店を置き、主に足場等の仮設工事を営む法人です。受注も増える中、現在使用している資材置場にも資材が増え手狭となり土地を探していたところ、隣接地を譲っていただけることとなり、今回申請に及んだものです。

続きまして、２番の概要ですが、転用目的は住宅です。転用理由といたしまして、譲受人は、現在、市内の賃貸住宅に夫婦で居住しておりますが、家族の将来のことを考え戸建て住宅の建築を計画し土地を探していたところ、申請地は実家にも程近く最適な場所と判断し、申請に及んだものです。

続きまして、３番の概要ですが、転用目的は住宅です。転用理由といたしまして、譲受人は、現在、妻の実家に祖母、母親並びに夫婦と子供１人、計５人で居住しておりますが、家族の将来のことを考え戸建て住宅の建築を計画し土地を探していたところ、申請地は実家にも近く、子育ての支援や今後の介護等を踏まえ最適な場所と判断し、申請に及んだものです。

続きまして、４番の概要ですが、転用目的は資材置場です。転用理由といたしまして、借人は令和３年に春日部市に本店を置き、主に造園業を営む法人です。近年、ヤシの木の需要が増え現在の置場では手

狭となり、敷地拡張を計画したところ土地所有者の同意が得られたことから申請に及んだものです。

続きまして、５番の概要ですが、転用目的は住宅です。転用理由といたしまして、譲受人は、現在、市内の賃貸住宅で婚約者と居住しておりますが、将来のことを考え戸建て住宅の建築を計画したところ、父親から近くに住んでほしいと強い要望があり、申請地は父親の所有する土地で、実家の土地と隣接し、家族が安心して生活ができることから最適な場所と判断し、申請に及んだものです。

なお、令和４年２月15日付で住宅として農用地区域から除かれています。

続きまして、６番の概要ですが、転用目的は農園施設です。転用理由といたしまして、借人は、平成22年に東京都千代田区に本店を置き、主に農業経営に関するコンサルタント業を営んでいる法人です。障がい者雇用を促進するため、主に知的障がい者の方が就労可能な企業向け貸し農園を現在、千葉県、愛知県、大阪府、埼玉県に計30か所運営しております。このたび、越谷第２ファームを開設するに当たり、既に30名以上の方が農園体験も終了し、就労を待っている状況です。全体で78名の障がい者の方が就労を予定しており、開設に当たり土地を探していたところ、申請地は農園運営が可能なまとまった土地であり、参加企業が定期的に農園を訪問する際、移動に１時間程度と利便性がよいことから計画したところ、地権者の同意が得られたので、申請に及んだものです。

以上６件の農地区分につきましては、申請地の周辺は集落介在が進んだ一団、10ヘクタール未満の第２種農地と判断され、それぞれ代替性が認められませんので、立地条件に適合していると考えます。また、資力や信用性などの立地条件以外の基準につきましては、添付書類等により適当であると考えます。

事務局からは以上です。

議　　長　ただいまの説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明を、１番について瀬尾委員、２番及び３番について渋谷委員、４番について

	荻島職務代理、５番について大熊委員よりお願いいたします。また、６番については私から説明いたします。 それでは、１番について、瀬尾委員よりお願いいたします。
１　番　委　員 （瀬尾委員）	１番の件について説明いたします。 ４月21日に現地を確認しております。申請地の現況は畑で、転用目的は資材置場です。北側の出入口を除き、周囲にコンクリートブロック等を設置することから、周囲へ被害を及ぼすおそれはないと判断します。 以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。
議　　長	ありがとうございました。 ２番及び３番について、渋谷委員よりお願いいたします。
５　番　委　員 （渋谷委員）	２番及び３番の件について一括して説明いたします。 ４月13日に現地を確認しております。申請地の現況は畑で、転用の目的は住宅です。出入口を除き周囲にコンクリートブロック等を設置することから、周囲へ被害を及ぼすおそれはないと判断します。 以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。
議　　長	ありがとうございました。 ４番について、荻島職務代理よりお願いいたします。
１１番委員 （荻島委員）	４番の件について説明します。 ４月11日に現地を確認しました。申請地の転用目的は資材置場、現況は畑です。被害防除対策として、周囲の既存ブロックにて区画し、土砂等の流出を防止することから、隣地に被害を及ぼすことはないと判断されます。 以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。
議　　長	ありがとうございました。 ５番について、大熊委員よりお願いいたします。
７　番　委　員 （大熊委員）	５番の件について説明いたします。 ４月21日に現地を確認しております。申請地の現況は畑で、転用の目的は住宅です。東側の出入口を除き周囲にコンクリートブロックを設置することから、周囲へ被害を及ぼすおそれはないと判断します。

以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議　　長　ありがとうございました。

６番の件について私から説明いたします。

４月14日に現地を確認しております。申請地の現況は田で、転用の目的は農園施設です。出入口を除き周囲に鋼板及びメッシュフェンスコンクリートを設置することから、周囲への被害を及ぼすおそれはないと判断します。

以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

ただいまの説明について質疑はございませんか。

全　　員　なし。

議　　長　質疑はございませんので、以上で質疑を終結いたします。

続いて、採決を行います。

原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いいたします。

〔挙手全員〕

議　　長　挙手は全員でございますので、原案のとおり許可相当と意見決定いたします。

引き続きまして、第３号議案　農地法第５条第１項の規定による許可申請の意見決定についての７番から12番について、事務局から説明願います。

統括主幹　議案書の５ページを御覧ください。

第３号議案　農地法第５条第１項の規定による許可申請の意見決定についての７番から12番について説明します。

番号、譲渡人氏名、譲受人氏名の順に読み上げます。

それでは、７番の概要ですが、転用目的は資材置場です。転用理由といたしまして、借人は平成14年に市外に本店を置き、主に足場等の仮設工事を営む法人です。受注も増える中、現在使用している資材置場にも資材が増え手狭となり土地を探していたところ、申請地は現在使用している資材置場からも近く、計画したところ、土地所有者の同意が得られ、今回申請に及んだものです。

続きまして、８番の概要ですが、転用目的は診療所です。転用理由といたしまして、借人は、現在、市内の大学病院で勤務しており、このたび診療所開業の建築を計画し、土地を探していたところ、申請地は現在勤務する医療センター及び越谷市立病院などの総合病院とも連携がしやすい位置にあり、計画したところ、土地所有者の同意が得られ、申請に及んだものです。

続きまして、９番の概要ですが、転用目的は調剤薬局です。転用理由といたしまして、借人は平成11年に千葉市に本店を置き、主に薬局の業務を営む法人です。現在は、千葉県を中心に東京都、埼玉県などに店舗展開を行っております。このたび越谷市内に店舗を建築する計画を予定し、土地を探していたところ、申請地周辺は住宅が多く、近隣に診療所などがあり集客が見込めることから、計画したところ、土地所有者の同意が得られ、申請に及んだものです。

続きまして、10番の概要ですが、転用目的は住宅です。転用理由といたしまして、譲受人は、現在、市外の賃貸住宅に夫婦と子供１人、計３人で居住しておりますが、家族の将来のことを考え、戸建て住宅の建築を計画し土地を探していたところ、申請地は、妻の勤務先がレイクタウンであり通勤距離が短くなり、実家にも程近く、最適な場所と判断し、申請に及んだものです。

続きまして、11番の概要ですが、転用目的は住宅です。転用理由といたしまして、譲受人は、現在、市内の賃貸住宅に夫婦及び子供２人、計４人で居住しておりますが、家族の将来のことを考え戸建て住宅の建築を計画し、土地を探していたところ、申請地は実家にも近く、子育ての支援や親の介護を踏まえ、最適な場所と判断し、申請に及んだものです。

続きまして、12番の概要ですが、転用目的は住宅です。転用理由といたしまして、譲受人は、現在、市内の賃貸住宅に居住しておりますが、家財が増え手狭となり自己用住宅の建築を計画し、土地を探していたところ、申請地は実家にも程近く、両親も高齢となり介護のことも考え、最適な場所と判断し、申請に及んだものです。

以上６件の農地区分につきましては、申請地の周辺は集落介在が進んだ一団、10ヘクタール未満の第２種農地と判断され、それぞれ代替性が認められませんので、立地条件に適合していると考えます。また、資力や信用性などの立地条件以外の基準につきましては、添付書類等により適当であると考えます。

事務局からは以上です。

議　　長　ただいまの説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明を、７番について田口委員、８番から12番について藤井委員よりお願いいたします。

それでは、７番について、田口委員よりお願いいたします。

１０番委員（田口委員）　７番の件について説明します。

４月12日に現地を確認いたしました。申請地の現況は田で、転用目的は資材置場です。被害防除については、東側出入口を除き周囲に鋼板を設置し、土砂等の流出を防止することから、隣地に被害を及ぼすことはないと判断されます。

以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議　　長　ありがとうございました。

８番から12番について、藤井委員よりお願いいたします。

２番委員（藤井委員）　８番及び９番の件について一括して説明します。

４月21日に現地を確認いたしました。申請地の現況は畑で、転用の目的は診療所と調剤薬局です。被害防除については、南側出入口を除き周囲にコンクリートブロックを設置し、土砂等の流出を防止することから、隣地に被害を及ぼすことはないと判断されます。

以上、報告いたします。

続きまして、10番の件について説明します。

４月21日に現地を確認いたしました。申請地の現況は田で、転用の目的は住宅です。被害防除については、東側出入口を除き周囲に擁壁及びコンクリートブロックで区画することから、隣地に被害を及ぼすことはないと判断されます。

以上、報告いたします。

	続きまして、11番及び12番の件について一括して説明します。 同じく４月21日に現地を確認いたしました。申請地の現況は田で、転用の目的は住宅です。被害防除については、東側出入口を除き周囲にコンクリートブロックで区画することから、隣地に被害を及ぼすことはないと判断されます。 以上、報告いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。
議　　長	ありがとうございました。 ただいまの説明について質疑はございませんか。
全　　員	なし。
議　　長	質疑はないということでございますので、以上で質疑を終結いたします。 続いて、採決を行います。 原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いいたします。 〔挙手全員〕
議　　長	挙手は全員でございますので、許可相当と意見決定いたします。 続きまして、第４号議案　農用地利用集積計画（案）の決定について、事務局から説明願います。
統括主幹	議案書の６ページから８ページを御覧ください。 第４号議案　農用地利用集積計画（案）の決定について説明します。 番号、利用権の設定を受ける者、利用権を設定する者、設定面積、期間の順に読み上げます。 １番、14筆の合計7,601平方メートル、新規で、期間は４年11か月です。 ２番、10筆の合計6,963平方メートル、新規で、期間は３年です。 ３番、６筆の合計4,225平方メートル、新規で、期間は３年です。 ４番、２筆の合計1,883平方メートル、新規で、期間は１年です。 本計画案は、農業経営基盤強化促進法第18条第３項の各要件を満たしていると考えます。 事務局からは以上です。

議　　長	ただいまの説明について質疑はございませんか。
全　　員	なし。
議　　長	質疑はございませんので、以上で質疑を終結いたします。 続いて、採決を行います。 原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。 〔挙手全員〕
議　　長	挙手は全員でございますので、原案のとおり承認することに決定いたします。 続きまして、第５号議案　引き続き農業経営を行っている旨の証明書の発行について、事務局から説明願います。
統括主幹	議案書の９ページを御覧ください。 第５号議案　引き続き農業経営を行っている旨の証明書の発行について説明します。 番号、出願人氏名の順に読み上げます。 それでは、１番の内容ですが、筆数が５筆で、面積は1,326平方メートル。平成31年４月26日から令和４年４月25日までの証明です。 続きまして、２番の内容ですが、筆数が３筆で、面積は4,025平方メートル。平成31年３月26日から令和４年４月25日までの証明です。 事務局からは以上です。
議　　長	ただいまの説明に関連して、現地調査の結果並びに補足説明を、１番については推進委員９番の齋藤委員より、２番については推進委員７番の高島委員よりお願いいたします。 では、１番について、齋藤委員お願いします。
９番推進委員 （齋藤委員）	１番について報告します。 ４月21日に現地を確認しております。事務局報告のとおり、特例適用農地５筆については、適正に管理、耕作されておりましたので、報告いたします。 以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。
議　　長	ありがとうございました。 ２番について、高島委員よりお願いいたします。

７番推進委員 （高島委員）	２番について報告します。 ４月21日に現地を確認しております。事務局報告のとおり、特例適用農地３筆については、適正に管理、耕作されておりましたので、報告いたします。 以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。
議　　長	ありがとうございました。 ただいまの説明について質疑はございませんか。
全　　員	なし。
議　　長	質疑はございませんので、以上で質疑を終結いたします。 続いて、採決を行います。 原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いいたします。 〔挙手全員〕
議　　長	挙手は全員でございますので、原案のとおり証明書を発行いたします。 続きまして、第６号議案　農地の競公買適格証明書の発行について、事務局から説明願います。
統括主幹	議案書の10ページを御覧ください。 第６号議案　農地の競公買適格証明書の発行について説明します。 本議案につきましては、債権者の申立てにより裁判所の競売に付され、売却により所有権が移転する場合でも、農地法第３条または第５条の許可が必要になります。通常の競売の場合は、買受申出人のうち最高価買受申出人が競落することになります。農地の競売の場合は、買受申出人が決まっても、その人が農地法の規定による権利移動の許可を受けられる資格がない場合、その競売はやり直しになってしまいます。このため、これを未然に防止するために、事前に農業委員会または埼玉県知事が交付する農地競公買適格証明書を保有している人だけが競売に参加できることになります。この農地競公買適格証明書の交付は、農地法の許可手続に準じて行うことになっております。本件につきましては、農地法第３条第１項の許可に基づく審査をしていた

だくことになります。

入札の結果、最高価買受申出人となった者は、その証明書を添付し、再度、農地法第３条第１項の許可申請を行うことになります。

それでは、番号、出願人氏名の順に読み上げます。

１番、申請理由は営農拡張です。経営面積は１万3,753平方メートル、通作距離は車で３分、農機具は完備しております。農業従事者は出願人含め２名です。本件につきましては、農地法第３条第２項の各号に該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。

事務局からは以上です。

議　　長　ただいまの説明について質疑はございませんか。

全　　員　なし。

議　　長　質疑はございませんので、以上で質疑を終結いたします。

続いて、採決を行います。

原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

〔挙手全員〕

議　　長　挙手は全員でございますので、原案のとおり証明書を発行いたします。

続きまして、第７号議案　農地法第３条第２項第５号における別段の面積について、事務局から説明願います。

統括主幹　議案書の11ページを御覧ください。

第７号議案　農地法第３条第２項第５号における別段の面積の設定につきましては、案文をもって提案に代えさせていただきます。

それでは、読み上げさせていただきます。

農地法第３条の許可を受け、耕作のために農地等の所有権などの権利を取得する場合、取得後において50アールの耕作面積（下限面積）を確保する必要があります。しかし、農業委員会は、地域の平均的な経営規模や農地の利用状況などからみて、農林水産省令で定める基準に従い、下限面積とは別に耕作面積を設定することができます。これを別段の面積といいます。

農業委員会は、毎年、別段の面積の設定又は修正の必要性について

審議することとなっております。

このため、今年度の別段の面積の設定について以下のとおり提案いたします。

（１）農地法施行規則第17条第１項の適用について

方針　別段の面積の設定は行わない。

理由　毎年行っている農業経営及び農地利用の状況等に関する調査において、下限面積である50アール以下の農家数の総数に占める割合は、令和３年度57.5％で前年の57.3％と大きな変動がないこと。また、自然的経済的条件からみて営農条件がおおむね同一と思われる近隣市町でも別段の面積を設定していないため。

（２）農地法施行規則第17条第２項の適用について

方針　別段の面積の設定は行わない。

理由　令和３年度の農地法第30条の規定に基づく利用状況調査の結果、管内の遊休農地率は1.5％と低い現状であるため。

事務局からは以上でございます。

議　　長　ただいま事務局より説明いたしましたが、この件について質疑はございませんか。

全　　員　なし。

議　　長　質疑はございませんので、以上で質疑を終結いたします。

続いて、採決を行います。

原案のとおり決定することに賛成の委員の皆様の挙手をお願いいたします。

〔挙手全員〕

議　　長　挙手は全員でございますので、別段の面積は設定せず、下限面積は50アールと決定いたします。

続きまして、議案第８号　農業委員会等に関する法律第26条第３項の規定による職員の任免について、事務局から説明願います。

統括主幹　議案第８号　農業委員会等に関する法律第26条第３項の規定による職員の任免について説明します。

このたび、令和４年４月１日付で越谷市の定期人事異動がありまし

	た。農業委員会事務局では、総務部安全衛生管理課より、関根事務局長並びに越谷松伏水道企業団施設課より上原主幹が配属されました。 栗原事務局長は令和４年３月31日付で退職されました。転出した職員は、辻主事が行財政部資産税課へ転出しました。 事務局から以上です。
議　　長	ただいまの件につきまして質疑はございませんか。
全　　員	なし。
議　　長	質疑はございませんので、以上で質疑を終結いたします。 続いて、採決を行います。 原案のとおり承認することに賛成の委員の皆様の挙手をお願いいたします。 〔挙手全員〕
議　　長	挙手は全員でございますので、原案のとおり承認することに決定いたします。 次は報告でございます。 事務局から説明願います。
統括主幹	それでは、報告に移らせていただきます。 議案書の13ページ及び14ページです。第１号報告　農地法第３条の３第１項の規定による届出の受理について、５件の届出がありました。届出内容につきましては、記載のとおりです。 続きまして、15ページです。第２号報告　農地法第４条第１項第８号の規定による届出の受理について、１件の届出がありました。届出内容につきましては、記載のとおりです。 続きまして、16ページ及び17ページです。第３号報告　農地法第５条第１項第７号の規定による届出の受理について、11件の届出がありました。転用内容につきましては、記載のとおりです。 第１号報告、第２号報告、第３号報告につきましては、添付書類も含め完備しておりましたので、事務局長専決により書類を受理し、受理通知書を交付いたしました。 続きまして、18ページです。第４号報告　農地の改良に係る届出に

	ついて、２件の届出がありました。内容につきましては、田畑転換です。 　報告事項は以上です。
議　　長	次回の農業委員会会議の開催日程でございますが、５月25日、水曜日、午前10時から、この会議室で行います。 　以上をもちまして、本日の議事は全て終了いたしました。慎重審議をいただき、誠にありがとうございました。 （閉会時刻：午前１０時３７分）

上記のとおり相違ないことを証するため署名する。

令和４年　４月２５日

議　　長

署名委員

署名委員